



# 2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL  
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



## 戦況用紙

開催日	2019年 12月 10日 火曜日	試合コード	#87
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	ESP	26	前半	36
12-16				
後半				
14-20				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
7m c				
Spain (スペイン)	—	—	Russia (ロシア)	

戦況	見出し	RUSが10点差でESPを下し、8戦全勝で準決勝進出
	前半	C組1位ESPとD組1位RUSのMAIN ROUND-Group2の試合は、ESPのスローオフで開始。ESP-No86のロングシュートで先制したESPは、PV-No44で2-0とリードする。2分29秒RUSは速攻で、退場と7mTを獲得し、No77が決めて2-2の同点に追いつく。RUS-No13のカットイン、GKのエンブティゴール、さらにNo13のカットインと5連続得点する。5分19秒にESPがタイムアウト。8分を過ぎ、RUS-77のカットインで5-7とRUSが優勢にゲームを進める。RUSはDFの要No8が退場するが、GKを下げCP6人で攻めると、No77、No17と連続得点し、5-10とリードを広げる。15分00秒にESP-No86が7mTを決めると、続けてRUS-No77も7mTを決め6-11と点差は縮まらない。RUSの高くて力強いDFに、PVを封じられて得点が伸びないESPは、5-1DFにシステムチェンジする。19分40秒にESP-No86が4得点目をあげ、さらにNo30の速攻で9-12と粘る。25分36秒ESP10-14RUSで、RUSがタイムアウト。ESPはNo13にマンツーマンにつくが、No9がカットインして10-15とする。終了間際にESP-No86のロングシュートが突き刺さり、12-16のRUS4点リードで折り返す。
後半	4点リードのRUSのスローオフで後半30分開始。RUS-No77が6得点目の7mTを決め5点差になる。6分29秒ESPのPV-No44が決め、RUS-No13にマンツーマンにつくが、再びRUS-No77がカットインで加点する。RUSは速攻、No77の9得点目で勢いが止まらない。9分14秒15-25の10点差でESPがタイムアウト。目まぐるしく選手を入れ替え、どの選手も得点力がありRUSの選手層の厚さが伺える。14分過ぎには、ESPはGKをベンチに下げて、CP7人で攻撃に出る。PV-No44などで20-28と差を縮める。残り10分を切って、ESP-No25のLWが決めて22-29となったところで、RUSがタイムアウト。ESPはCP7人でコートを広く攻め、PVや7mTを決めるが、RUSもNo23のロングシュートで、25分を過ぎて24-32とリードを詰めることができない。27分にはESP-No34のカットインが決まり26-32と6点差に迫る。27分51秒26-33でESPがタイムアウト。ESPの7人攻撃に対して、RUSはエンブティゴールを連続させ、ESP26-36RUSで試合終了。プレーヤーオブザマッチは、RUS-No1SEDOYKINA Annaが受賞した。	



戦況作成者	中野 靖士
-------	-------